

## 小学部「秋を楽しもう！」

小学部の「遊びの指導」の学習では、学年ごとに段階的に異なるねらいを掲げながら、それぞれ季節を感じられる学習に取り組んでいます。今回は小学部1年1組の「秋祭り」の学習を御紹介します。

1学期は大人との関わりが中心だった児童たちも、2学期になり徐々に大人を介して友だち同士で関わる姿が多くなってきています。そこでより友だちへの意識を高め、みんなで力を合わせて楽しいと思える経験を積めるようにというねらいで授業に取り組みました。

まず最初は秋に触れ感じるために、ススキやどんぐりなどを素材にして遊ぶ学習から始め、落ち葉や枝を使って顔作りを行いました。

その後、秋祭りのためにおみこしの飾りつけや、芋団子の調理をしました。また、お祭りの衣装となるTシャツ染めにも取り組み、おみこしや衣装が出来上がることで、秋祭りへの期待を膨らませることができました。



そしていよいよ秋祭りでは、衣装に着替え、ブラックボックスからごちそうを取り出して渡すことや、1人ずつ芋団子を買うことができました。お祭りの準備が整うと、『月夜のポンチャラリン』の曲に合わせてタヌキのキャラクターと一緒に楽器を鳴らしてダンスをしました。お月様へのごちそうの場面でブラックボックスを次の友だちに「どうぞ」と渡したり、言葉でしっかりやりとりして芋団子を買う場面などで、この授業で大事にしている「人と関わる姿」が多く見られました。

最後に、みんなで協力しておみこしを担いだり、うちわを仰いだりして、タヌキ神社まで練り歩きました。繰り返し取り組む中で見通しを持ち主体的に行動でき、「ワッショイ！ワッショイ！」と楽しい雰囲気の中、秋祭りをしっかり取り組むことができました。

